

## 普及活動情勢報告（令和7年10月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### ズッキーニの増収に向けて ～新居支所ズッキーニ部会総会～



9月9日、新居支所ズッキーニ部会がJA土佐市新居支所園芸出荷場で総会を開催し、生産者11人が参加しました。  
農業改良普及課は、品種比較試験の調査結果や、ハウス内環境の見える化、SAWACHI、熱中症対策及び就労環境整備事業について説明しました。ズッキーニにおけるハウス内環境の見える化の取組は始まったばかりですが、今後も継続的に情報提供を行い、生産者の関心を高めていく方針です。  
農業改良普及課は、JAなど関係機関と連携し、収量の向上とデータ駆動型農業の普及に向けた支援を続けていきます。

### データから考える！露地ショウガの適正なかん水量やタイミング ～JA高知県土佐市生姜部役員会にて情報提供～



9月25日、戸波支所出荷場で、JA高知県土佐市生姜部役員会を生産者7名を含めた計10名で行いました。  
農業改良普及課は、露地での環境測定装置（土壌水分率センサ）の活用方法について説明しました。  
参加者からは、「手で見られ参考になる」、「今回の結果どおりにかん水するとやり過ぎではないか」、「次作はかん水頻度が多いと思われる生産者のほ場でやってほしい」などの声があがり、大きな関心が寄せられました。  
農業改良普及課は、露地品目においてもJA等関係機関と連携し、データ駆動型農業を推進していきます。

### 担い手確保・育成に向けて ～新規就農支援にかかる意見交換会を開催～



9月29日、土佐市役所で、長期産地ビジョン“ピーマンのまち土佐市構想”における新規就農者への支援を充実させるため、土佐市ピーマン部会の指導農業士3名と関係機関19名で意見交換会を開催しました。  
農業改良普及課は長期産地ビジョンの令和7園芸年度の実績報告や、園芸用ハウス整備にかかる事業、JAからはピーマン部会の新規就農者等の現況、市からは土佐市における新規就農者の動向について説明した後、意見交換を行いました。  
指導農業士からは、研修後に就農するハウスの確保等の出口対策について、意見が出されました。  
農業改良普及課は、関係機関とともに、指導農業士の意見を反映させた取組を行えるよう進めていきます。

優良農地の円滑な継承を目指して  
～優良農地候補現地調査～



農業改良普及課は関係機関と連携し、いの町吾北地域で後継者のいない優良農地のリストアップを行っています。10月6日、いの町吾北総合支所職員2名、JA職員1名、農業改良普及課3名で優良農地候補の現地確認を行いました。

今回は4カ所の候補地を確認し、関係機関からは、「耕作放棄地が増えている中で優良農地を円滑に継承していけるようにしたい」、「その他の優良農地候補があれば情報共有したい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、引き続き優良農地の台帳作成と担い手の確保を関係機関と進めていきます。